

小学校 図画工作科学習指導案

大竹市立栗谷小学校 阿比留 時彦

- 1 対象学年 第3・4学年
- 2 題材名 6人の絵かきさん ~鑑賞：表現し続けたピカソ~
- 3 題材設定の理由

絵に親しむと、自分を見つめるさまざまな感情を喚起してくれる時がある。また、美術作品がその時代を背に生きた作家の感情、作品に寄せる願いなど多くのことを語ってくれる時がある。一枚の絵を鑑賞することで、自分の内面的な発見と共に、画家のその絵に寄せた時空を共有することができると思う。

本題材ではピカソを取り上げた。子どもたちの多くも、変な絵を描くピカソという名前は知っていることだろう。しかし、彼の表現の変遷を知ることは少ない。今回、ピカソのいくつかの作品を通して、絵を観る楽しさを伝えたいと考えてみた。また、絵を描くことを通じて自分の「生」を追い続けたピカソその人のことも感じ取ってほしいと願っている。

本学級に実施したアンケートによると、美術館へ行ったことのある子どもは13名中1名で、しかも一度きりであった。しかしその反面、絵を観るのが好きと答えた子どもは13名中12名に、また、美術館へ行ってみたいと思う子どもは全員にのぼっている。本学級で鑑賞の時間を単独で行うのは初めてだが、本時の学習展開には、ひろしま美術館所蔵の作品も取り入れているので、本物にも接してほしいものである。

4 指導目標

絵に親しみ、自分なりの見方ができるようにする。

友達と感想を交流しながら、自由な絵の見方を楽しむことができるようにする。

5 指導内容と計画 ----- 随時(本時 第一次 第1時)

随時としたのは、年間を通してショートで鑑賞の時間を設け、絵に接する機会を提供したいと考えている。本時は、きっかけとしての2単位時間を設定している。

- | | | | |
|-----|------------------|-------|------------|
| 第一次 | ピカソの絵に親しむ。 | ----- | 2時間(本時1/2) |
| 第二次 | ピカソの絵とその思いを話し合う。 | ----- | 随時ショートタイム |
| 第三次 | いろいろな絵を観てみよう。 | ----- | 随時ショートタイム |

6 授業設計の焦点

本授業は、子どもたちが絵に親しむ心情を培うことをねらいとしている。その手だてとして、様々な表現形式を模索し、自らの思いを伝えようとし続けたピカソの絵を取り上げてみた。まず、導入では絵解きパズルを行い、キュビズムの面白さに触れさせたい。そしてこの絵をみんなで観ていきながら、見方の自由さに触れたい。次に数点の絵から1枚を選び、その絵を自分なりの見方に沿って鑑賞する場を設定した。その際、観る手がかりとして、ワークシートを活用し、絵との対話の促進を図ろうと考える。限られた時間で、できるだけみんなで感想交流する場を持ちたいと考える。

| | |
|----|---|
| 仮説 | パズルやワークシートの活用を行い、絵との関わりを設定するならば、自分なりの見方や友達との交流を通して、絵に親しむことができるであろう。 |
|----|---|

7 準備物

パズル，鑑賞用レプリカ，ワークシート，イーゼル など

8 本時の目標

- ・絵に親しみながら，自分なりに絵と対話することができる。

9 評価

- ・子どもたち自らが興味を持って絵に接し，絵との対話を図ることができているか。

10 学習の展開

| 学 習 活 動 | 教 師 の 働 き か け |
|--|--|
| <p>1 学習のめあてを確認する。</p> <p>2 絵に親しむ。</p> <p>(1) 絵解きパズルをする。</p> <p>(2) 個々人で絵を観る。 (鑑賞する)</p> <p>(3) みんなで話し合う。</p> <p>3 活動の見通しを知る。</p> | <p>1 6人の絵描きさんの絵を観ながら，そのよさや美しさなどに親しむことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当はピカソ一人だが，その表現形式の違いに着目するために6人としてみた。3の活動では，その種明かしをしながら，ピカソその人のことにも触れたい。 <p>2 子どもの発達を考慮して，3つの方法で作品との距離を縮めていけるように考えてみた。</p> <p>(1)『泣く女』(ロンドン：テートギャラリー)の均等分割したパズルを班ごとに行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キュビズムの作品は，手がかりが得にくい反面，解体，組み合わせを自由に楽しめるよさもあると考えてみた。 ・時間を区切り，作品をみんなで観る時間をつくる。絵を観る視点として，全体から受ける感じや好きなどところ，作品を通して表したかったことなど作品を自由に観る楽しさを味わわせたい。また(2)に続く個人鑑賞の見通しづくりとしたい。 <p>(2) 6枚の絵の中から，1枚を選択し，ゆったりと観る場を設定する。</p> <p>絵との対話が図れるようにワークシートの活用を図る。</p> <p>(3) 絵を観る楽しさを味わうために，時間の許す限り，全員で意見交流する場を持ち，いろいろな見方のできることを引き出す。</p> <p>3 観てきた絵が，ピカソという一人の画家の作品であり，絵を通して自分を表現し，思いを伝えようとしてきた素敵な人だったことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま美術館にも実物があること。 |